純潔の旗風の下

尾道市立久保中学校
学校だより
平成３１年２月５日（火）
第１０号

強い心をもち　仲間とともにチャレンジする生徒の育成

～あなたが久保中ドラマの主人公～

立志式
誓いの言葉と感謝の気持ち

１月１９日（土）立志式を行いました。

立志式とは，古来，成人になった証として数え 15 歳の年に元服を行ったことにちなみ，２年生全員が，志を立て，将来に向かって強くたくましく生きていこうとする意欲と自覚を高めていくための儀式です。生徒会長の髙垣周良くんが，「誓いの言葉」を述べました。

誓いの言葉（抜粋）

私たちは，古来より，人と人とが行き交い，進取（しんしゅ）の気質で常に新しいことに挑戦してきた，この尾道で育（はぐく）まれたことを誇りに思い，「久保中学校から世界へ」という強い気概を持って何事にも挑戦してまいります。そして，いつも心に，家族やふるさとを抱き，これからもふるさと尾道，母校久保中学校の発展に努めていくことをお約束いたします。

生徒会長　髙垣周良

その後,前川朔也くん，恵谷千鶴さん，竹下　潮くん，３ 名が２年生を代表して，それぞれが志を発表しました。その時の「志」宣言を紹介します。

「志」宣言

僕の一番の課題は人とコミュニケーションをとることが苦手ということです。初めて会った人だと何を話したらいいのか分からず，相手から話を始めてもらわないと何も話せません。だから，この課題を克服するために，自分から話すこと，恥ずかしがらないこと，自分を信じることを頑張っていきたいと思います。そのために，自信が持てるように，勉強や運動をしっかり頑張っていきます。（前川朔也）

私の将来の夢は，介護士になることです。なぜ介護士になりたいのかというと，夏休みの職場体験学習で高齢者施設に行き，やりがいを感じたからです。利用者の方と一緒に折り紙を折ったとき，とても喜んでもらい，それがとてもうれしく，もっと頑張ろう，もっと喜ばせてあげようと思いました。また，笑顔で働く母や職員の方を見て，自分も介護士として人の役に立ちたいと思いました。私は人との関わり方や相手の気持ちを考えて行動し，人の支えになる介護士を目指して頑張りたいと思います。（恵谷千鶴）

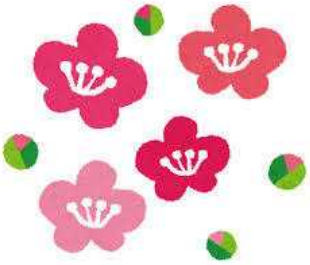
これからたくさんの勉強と色々な経験を通して，将来の夢をしっかり考えていきたいです。今，自分が頑張るべきなのは，勉強することと経験を積むことです。多くの成功や失敗の経験を通して，困ったときも自分で解決できる力を身に付けることです。今するべきことは何かというのを常に考え，自立した大人になりたいと思います。（竹下　潮）

あ・愛情いっぱい注いでくれて
り・理解し、許してくれて
が・頑張れって応援してくれて
と・時々叱ってくれて
う・産んでくれて

あ・り・が・と・う

保護者代表挨拶として３年生の保護者が,親からのメッセージをまとめ,親の気持ちを代読してくださいました。

昨年私の息子がこの会で決意を発表し,心を打たれたのを覚えています。
さて,皆さんが生まれてもう１４年経ちました。親がこの月日皆さんのことをどう思っていたかということは考えたことがないですよね。今日は２年生の保護者から戴いたメッセージをまとめ親の気持ちを代読したいと思います。
私の元に生まれてきてくれてありがとう。私は生まれた日のことを今でも鮮明に覚えています。
そして,初めて言葉を発した日のことも,小学校に入学した日のことも。
あなたが喜んだり楽しんでいる姿を見て,私も幸せな気持ちになりました。あなたが悩んだり,苦しんだりしている時には「親として何が出来るんだろうと」私も一緒に悩みました。あなたが大きくなるにつれて「よく頑張ったね」「ありがとう」「すごいね」が面と向かって伝えることが照れくさく,小言ばかり口にすることもありましたね。でも忘れないでください。私はあなたの一番の応援者です。どんなときもですからね。(略)
自分の夢を実現させる事は簡単なことではありません。自分の周りには自分を支えてくれる人がたくさんいることを忘れず,最後まで自分を信じて夢の実現を目指してください。
地域のみなさん,先生方今まで子供たちの成長を見守ってくださり,ありがとうございます。まだまだ未熟な子供たちですが,どうぞこれからもご指導よろしくお願いします。

北久保保育所園児と凧揚げをしました

１月３０日（水），１年生が，北久保保育所の園児と中学校のグランドで凧揚げを行いました。久保中学校では，社会参加とともに，優しい気持ちで他人に接し，もてなしの気持ちをもつ生徒に育ってもらいたいとの願いをこめて，定期的に異年齢交流を行っています。
１年生は，当日，北久保保育所にお迎えに行き，生徒２人に園児１人の割合で一緒に凧揚げを行いました。笑顔いっぱいに凧揚げのやり方を教えてあげたり，歓声をあげたり,ふだんの教室では見られないような，微笑ましい姿がたくさん見られました。
生徒たちは「楽しかった」「最初はどう接していいか不安だったけど，小さな子が喜んでくれたのですごくうれしかった」「またやりたい」などと，楽しい感想を報告してくれました。